



地域の防災力向上とコミュニティづくりに 役立つ防災訓練を目指す 自主防災組織ハンマーズの取組

東京都墨田区 自主防災組織ハンマーズ
キャプテン 福井 寿英



1 はじめに

自主防災組織ハンマーズは、東京都墨田区で住宅産業と建設産業で働く技能技術者、親方、事業主で結成したチームです。前身は、2008年に墨田区と「災害時における応急救済業務に関する協定」を締結したときに結成した、自力脱出困難者の応急救出救助活動チームです。

その後、東日本大震災の被災各地で、地域の建設産業が災害時の応急対応と復興事業まで、改めてその役割の重要性が認識されたことをきっかけに、「その社会的役割を果たすこと、地域の防災力向上に役立つこと」を目的に、2014年11月に再結成しました。

2 まずはチームのレベルアップ

ハンマーズとして活動を始めた頃は、区内でもまだまだ知られておらず、活動する環境もそれほど整ってはいませんでした。そのため、まずはチームのレベルアップ・スキルアップを図る活動を重視し、メンバーの防災に対する意識向上と防災力向上を目指して、年複数回の学習会や防災訓練を取り組んでいます。特に、地元の消防署の方には、何度も応急救済訓練を始めとする様々な訓練をご指導いただき、チームのスキルアップにご協力とご指導をいただいています。また、地域の建設産業団体である東京土建墨田支部や墨田区耐震補強推進協議会のイベントや、墨田区総合防災訓練などに積極的

に参加し、地域の防災力向上に役立つチームとして認知されるように努力を続けています。



消防署員の指導で訓練

3 「楽しく学べる」防災訓練

総合防災訓練や地域の防災訓練に参加する中で、私たちの取り組む活動で特に最初に注目を浴びたのは、地震で倒れた家を模して作った「倒壊家屋模型を使った応急救済訓練」です。実物大に近い倒壊家屋の模型を作って、ジャッキやボールといった応急救済で使う資機材を使って、安全対策を施しながら閉じ込められた人を救出する訓練です。瓦屋根の模型なので、臨場感やインパクトがあると好評を得ることが出来ました。また、防災訓練は「つまらないし、難しい」ものと感じないように、子どもも大人も「楽しく学べる防災訓練」の開催を目指して、いくつかのオリジナルの防災訓練コンテンツを考えて防災訓練などに参加しています。

「ジャッキ体験 de コリントゲーム」は、

倒れた家具の下敷きになった人や倒壊した家屋に閉じ込められた人を助けるのに役立つ道具であることを理解してもらうため、使い方の説明と操作方法を体験できる訓練です。

「コリントゲーム」（傾斜した盤面を玉を転がして遊ぶゲーム）の台を製作し、子どもは、「どうしてもゲームがしたい」



倒壊家屋模型を使ったの応急救助訓練



ジャッキ体験 de コリントゲーム



ミニチュア家具転倒防止実験

とっていても、自分でジャッキを使って台を傾けなければゲームはできませんから、ジャッキの使い方を覚えながらゲームも出来るという体験です。ほかにも、「非常持出袋釣りゲーム」「家具転倒防止器具取付体験」など、体験型にゲームを組み合わせるなど「楽しく学べる」防災訓練コンテンツを企画製作し、地域の防災訓練や学習会のお手伝いをさせていただくようになりました。

4 地域社会に貢献できる チームづくり

私たちは、地域で開催される防災訓練を「地域イベント」と位置づけられるように、「地域の防災力向上とコミュニティづくりに役立つ」防災訓練を開催することを目指して取り組みを続けています。地域町会などで活動する皆さん共通の悩み、「何をしたいかわからない、人が集まらない、マンネリをどうしたらいいか？」などを一緒に考えていきたいと思っています。参加した人が「来て良かった」と感じてもらうことはもちろん、地域の中で地域防災力向上のために一生懸命に活動している町会役員や防災に関わる方たちが、何より「やり甲斐」を感じられる防災訓練にするために、信頼関係を築きながら側面支援をして貢献できる関係づくりとチーム作りを進めていくつもりです。

まだまだ防災活動の分野では新参者のチームですが、近年、日本が直面している繰り返し襲ってくる自然災害の脅威から、人の命や地域を守ることに貢献できるよう、チーム一丸となってより一層努力していきたいと思っています。